

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



皇紀二千六百七十七年



奉拜



明治神宮

平成十九年六月三日



百年計画の鎮守の社

明治神宮

鎮座から百年、年間一千万人の参拝者が訪れる明治神宮。クスノキやカシなどがうっそうと茂る都心の貴重な森ですが、自然林ではなく、大正時代に林学者たちにより造られた森です。

創建は1920年。祭神としてまつられているのは明治天皇と皇后である。昭憲皇太后だ。明治維新以降、日本は大きな変化を経験することになった。

近代憲法の制定や議院政治の開設、教育制度の確立など。その中心には明治天皇が立っていた。

百年を迎えて森の健康診断を行ったところ、計画どおり針葉樹から常緑広葉樹の森に変わりつつあるのがわかり、広葉樹で「永遠の森」の実現出来たになります。夏は涼しく冬は暖かく感じます。

クスノキ、カシ、それからシイといった常緑広葉樹です。

東京で「永遠の森」を造るには気候風土に合った「煙害にも強い樹種」でなければなりません。科学的な判断が決め手になりました。